

稲葉栄生教授(海洋実習と女子学生)





稲葉栄生 教授

稲葉先生，豊田先生永い間お疲れ様でした。記念講演会，囲む会のご案内を頂きましたが，残念ながら3月は小・中・高・短大の卒業式ほか行事が一杯で動きができません。宜しくお伝え下さい。こういう機会に，皆さんにおめにかかれると思うのですが残念です。小生もこの3月末をもって退職します。4月からは無職になります。1ヶ月位，どこへも行かず，寝ていたいと思っています。

平野敏行（元海洋科学科主任教授）



豊田恵聖 教授

3/4(木)の14:30から17:30は、時間が取れないと思います。大変お世話になっておりながら申し訳ありません。でも、両先生は、非常勤の講師で大学に残られるとの事と聞き、また、お会いできるものと安心しております。両先生におかれましては、長年の激職、お疲れ様でした。卒業後にもご指導、ご鞭撻を戴き感謝しております。豊田先生は、興津川におけるアユの遡上が気になっておられるのではと勝手に想像しています。健康に留意され楽しい毎日を過ごされますことをお祈りいたします。また、お目にかかれる日を楽しみにしております。

市川光昭（卒業生 8期）

1名様限定・英語でのコミュニケーション必須という条件にもかかわらず、採用内定です（裏情報では元気の良さがうけたとか）。豊田先生の退官行事はあいにく予定が重なり出席できなくなりましたが、改めまして、豊田先生にメールを書き、3月上旬に東海大へご挨拶に伺いたく思います。化学系の先生方には是非論文を収めさせていただきたいと思い、準備しております。よろしく願いいたします。

藤根和穂（卒業生 33期）

海洋学部が創設されたころは、さまざまな局面でご苦勞なされたことと拝察いたしております。これまでのご尽力に感謝いたしますとともに、健康には十分ご留意いただき、穏やかに過ごされますよう祈念いたしております。

澤本彰三（海洋研究所）

あいにくこの時期私は現在実験に使用しているスベスベマンジュウガニの採集（研究しがいのある生物なのですが、なかなか採できません）ネットワークを作るために旅に出ています。そのためすいませんが出席できません。学部のために働いてくださった学部長、よくかわいがってくれ、小突いてくれた（勿論、冗談です）稲葉先生の大事な会に出席できないことは、はなはだ申し訳ないと思っています。

斉藤 俊郎（水産学科）

ご無沙汰しております。

この2～3日暖かい気候ですが、身体はいかがでしょうか。1月末にフィリピンのセブ島～レイテ島ケーブル長調査に1週間程行ってきました。現地はいまでも夏で、半袖でも暑く、顔や手が焼け、皮が剥けました。1週間後には風邪をひき、やっとならぬ風邪が直りました。

3月豊田、稲葉両教授の退官講演会は2月27日～3月12日まで、九州五島列島ケーブル調査で出張中です。出席できませんが、両先生に宜しくお伝え下さい。春には関西OB会を開催予定でいますので、皆様是非ご参加下さい。

石川 正男（卒業生 9期）

豊田・稲葉先生を囲む会の準備、ご苦勞様です。当日は、出張中で欠席しますが、両先生には「39年間、ご苦勞様でした」とよろしくお伝えください。

中見隆男（海洋文明学科）

豊田先生、稲葉先生長い間ご苦勞様でした。私が在学中はお二人とも助教授で、卒論の時期は岡部研でしたが、豊田先生の部屋に出入りさせてもらっていました。豊田先生とはもう時効だと思いますが、豊田研の卒論生の卒論を頼まれたことがありました。卒業後は、就職担当として、我社に卒業生の就職のことで数回来られました。

稲葉先生とは、大学の調査船で一緒させてもらっていましたが、卒業後は技術士試験（応用理学部門の地球物理及び地球化学）の口頭試験で試験管として久しぶりにお会いしましたね。卒業後は、OB会でお会いして話をさせてもらう程度になりましたが、優れた研究者が必ずしも良く評価されない世の中ですが、お二人とも後世に残る学術的研究をなされておられますし、皆に慕われておられますし、豊田先生は学生の就職の世話から学部全体の様々な課題解決に苦勞されたことと思います。

今後のことは存じませんが、後輩達の良き”道しるべ”としてご活躍されることを期待しております。毎年のOB会でまたお会いすることを楽しみにしております。

追記：覚えておられないかと思いますが、北海道にいます卒業生の荒谷君（空知郡の高校教師）と杉村君（釧路の中学校校長）も”長い間ご苦勞様でした！”と伝えて欲しいとのことでしたので報告します。

お元気で！ご苦勞様でした！

秋山和敏（卒業生 10期）

豊田先生へ

長い間ご苦勞様でした。先生に教えていただいた定量分析化学、今、とても役立っています。まじめに聞いていて良かった！

春になったら、またお部屋に遊びにいきます。

優美（卒業生 18期）

稲葉先生へ

定年の歳とは思えない先生ですが、いつまでも若々しく！楽しく！いてください。また研究室にお邪魔します。

先生の大ファンの息子から伝言です。
『僕が大学に通うまで学校にいてね

加藤優美・悠永（ゆうと）

稲葉先生。

札幌オリンピックのジャンプ金銀銅独占の興奮冷めやらぬ中、清水で入学試験を受けました。そのときの私の面接をして下さったのが、稲葉先生と渡辺先生でした。建学の精神とか聞かれるとまずいな、なんて大いに心配していたところ、「物理はいいけど他はぱっとしないね〜」とおっしゃる渡辺先生の言は無視して、稲葉先生。「そっかー、気象がやりたいのね、がんばってね」とか、「ボクも気象観測しているけど、手伝ってくれる？」とか、いきなり打ち解けて、結構軽そうに見えるが、もしかすると奥の深いヒトなのかもしれない・・・大学の先生とはこういう人種かと、妙に納得したり、実に新鮮なる出会いでした。これが大学の先生の一般的傾向ではないことを直ぐに知ることとなったのは勿論のことですが、稲葉先生の印象は、その後32年間、そのときのままでした。

やはり先生はよほど奥が深いのだとは思いますが、小生の人生経験足らず、その深淵の入り口さえ発見できずにあります。おかげで大学生活もたいそう楽しく、また卒業してからも、普通は懐かしいということになるのですが、「お会いするのが嬉しい」といった先生でした。

どうぞ、これからもその天真爛漫な奔放さを失わず、マイペースでご活躍くださいますよう、心よりお祈り申し上げます。

豊田先生。

親しみ深い先生とはこういう方をいうのだという、まさにその見本とでも言うべき先生です。立場がどんどん上になっていかれても、そのスタイルはまるで変わらず、何でもお願い事を聞いて下さいますし、親身になって相手の話を聞いてくださるそのエネルギーは、超人的とさえ言えます。しかし、こんな方ですから、仕事もストレスも人の何倍も抱えておられるはずで、いつもご健康が気がかりでした。これからは、いくらかそうした仕事から開放されるはずですから、どうぞもっと楽しんで、お仕事をなさってください。

先生との年の差は変わりませんが、年齢差率の方は年々縮まっていきますので、恩師から、人生の先輩、そのうちに茶のみ友達といった雰囲気、これからも未永くお付き合いください。

また、先生のお力添えで立ち上がったクラス会のOG3会。みな目先の仕事に追われ、このところ活動はさっぱりですが、これから年を取って、仕事の比率が下がるにつれ、またみんなが集まるようになってくるかと思っておりますので、これからもどうぞよろしく願いいたします。

古谷（杉原）敏之（卒業生 12期）

稲葉栄生教授(昔と今)





豊田 先生

自分の歳のことも忘れ、先生が退職なされることをお聞きし、驚いております。折戸のお宅にお邪魔させていただいていたところが懐かしく感じられます。お世話になった先生方が母校を去られるのは寂しいかぎりです。

最後の講演、拝聴したかったのですが、聴講できず残念です。長い間ご苦労様でした。来沖お待ちしております。

稲葉先生

一昨年の沖縄海友会での講演ありがとうございました。

先生の講演をお聞きしながら、在学中もう少し物理の授業を選択しておけばと悔やんでおります。工学の卒業生からも“科学教授陣恐るべし物理の講義を受けてみたかった”とのコメントも出ていました。

本当に長い間ご苦労様でした。

沖縄県 上橋 美久 (7200G1140)

稲葉・豊田両先生、長い間の在職おつかれさまでした。私は、学生生活の4年間を通じて、先生方には学業・就職において大変力になっていただきました。これも私自身が海洋学部の門をたたいた一つの運命の出会いかなと感じております。先生方の出会いを大切に思いながら、しっかり進んでいきますので、これからも、見守ってください。

お元気でお過ごしください。

94年度卒 田中 弘章

豊田先生には私が卒検で西表に行った際、実験室の準備でお世話になって、直接お話をしたのはあの時ぐらいなのですが、あの時の豊田先生の笑顔をなぜか今でもはっきりと覚えています。

稲葉先生の授業中での、あの個性的なお話の仕方、懐かしいです。

両先生の新しい門出に幸多きことをお祈りたいと思います。

柴本 陽子